

ら効果があるとされる。病院など各所の緑のカーテン。これから作ってみたい人などを見た。

# し和らぐ のカーテン

市浜川プール(浜川町)のガラス張りの壁面に沿って、ゴーヤーやアサガオが成長している。正面玄関を挟んだ両サイド。1日に植え込み作業が行われ、ネットに向かって、青々としたつ

年の成長を楽しみにしている。緑のカーテンは、プールを管理する高崎財団の環境への取り組みの一環で行われている。同財団スポーツ公園施設部プール管理課長の清水武夫さん(55)は

## 壁伝うつるに勢い

るが勢いよく伸び始めたところだ。

利用者の広瀬京子さん(75)=下大島町=と清水レイ子さん(70)=八幡町=は「毎年、立派にできている。伸びていくと日よけになるのでとてもいい」と今

「利用者が見て楽しんで、少しでも涼しさを感じてもらえた効果があると思う」と話している。

ネットは1階部分を覆うように設置されている。間もなく立派なカーテンが出来上がりそうだ。

西日が当たる窓にはゴーヤーとキュウリのカーテンがすくすくと成長中。居間

本植えたところ、約3ヶ月四方のネットが葉で埋まり、屋根まで伸びて大変だっ

## NPO法人ハートフル

石原町



ゴーヤの苗を植える職員たち。2カ月ほどで立派な緑のカーテンになるという

## NTT東日本群馬支



介護保険事業や障がい福祉事業を手掛ける認定NPO法人ハートフル(石原町、桜井宏子代表)で、今年も緑のカーテンの準備が始まっていた。

植えるゴーヤーの苗は、前年収穫した実の種から育てたもの。園芸が得意な鈴木茂さん(63)ら職員とデイサービスの利用者が、慣れた手つきでプランターに植え替えていた。アサガオやトマトも寄せ植えにする予定という。

同NPOは、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる。定年はなく、職員の最高齢は85歳。子どもを連れての出社も可能だ。緑のカーテンのほか野菜畠もあり、種まきから収穫まで、高齢者と子どもが一緒にになって楽しんでいる。採れた野菜は、配食サービスの食材に利用することもあるそうだ。

## デイ利用者が植える

緑のカーテンの取り組みは2010年に始まり、8年目となる。「何より見た目が涼しそう。緑による癒やしの効果もある」と、広報担当の加藤仁朗さん(58)。今年は新たに、太田市の太田別館ビルにも同じ3種を植え、緑のカーテンを作り出すという。

通り沿いに並ぶ花のプランターと合わせ、社員が毎日交